

平成29年 4月17日

## 平成28年度総合文化研究所研究助成報告書

研究の種類	・海外共同（ ） ・共同研究（○） ・個人研究（ ）	
研究代表者 (所属・職・氏名)	家政学部・教授・松本年史	
研究課題名	建築・デザイン教育における ICT 活用の可能性と提案	
研究分担者氏名	所属・職	役割分担
戸田泰男	家政学部・教授	共同研究者
研究期間	平成28年 4月 1日 ~平成29年 3月 31日	

## 研究実績の概要（1）

研究テーマ「**建築・デザイン教育における ICT 活用の可能性と提案**」について、

平成28年4月1日より平成29年3月31日にかけて、共同研究者である戸田奏男教授と共同研究を行った。その成果をもとに、建築・デザイン分野へのICT技術の活用の可能性を提案し、今年度（平成29年4月）以降、建築デザイン学科の授業に活用させていく計画である。

平成28年4月から7月にかけて、「ICT技術」についての基礎調査を行い、書籍や論文、インターネット資料などを調査して、その概念とこれまでの技術との違いや特徴を整理した。

また、共立女子大学の学生のICT技術導入に関連した状況（スマートフォンやタブレット端末、ノートパソコンの使用状況）を担当している授業を受講している学生を対象に調査し、その状況を参考にしてICT技術の教育分野への活用に必要な機器やソフトウェアの調査と導入を行った。

この時期に、ICT技術の教育分野への活用に関係した先行研究を調査し、今回の主要課題である建築・デザイン分野への設計演習授業への活用研究を重点的に調査したが、この分野への有効な活用事例は見出すことが出来なかった。

平成28年8月から11月にかけて、「ICT技術」の建築・デザイン教育への活用の可能性について、共立女子大学で行われている授業を対象に検討を行った。先行研究では他大学において、この分野への有効活用事例を見つけることが出来なかったが、昨年度から多方面で活用され始めているAR技術については、建築・デザイン演習の新しいプレゼンテーションの可能性につながるものとして期待が持てる感触を得た。

平成28年6月から11月にかけて、建築・デザイン教育を行っているコンタクト可能な大学に対して、ICT技術の教育分野への活用についての意見交換のアポイントをとり、アポイントの取れた東北地方の3大学（宮城大学、東北芸術工科大学、公益文化大学）について訪問し、意見交換を行った。

平成28年7月から10月にかけて、ICT技術に関連したIoT(Internet of Things)技術の日常生活への応用についてゼミ学生と勉強会を行い、9月に開催されたPTC社の発表会に参加した。

平成29年1月から3月にかけて、平成28年の調査・研究の内容をまとめ、建築・デザイン分野の教育への「ICT技術」の活用方法について具体的に検討を行った。今回の研究期間中には、実際の授業への「ICT技術」の活用はできなかったが、今回の研究成果を踏まえ、今年度（平成29年4月）以降の授業に順次活用を試みていきたいと考えている。

研究の成果については、2018年（第24号）総合文化研究所紀要に研究成果を発表する予定で、現在執筆中である。

研究発表(印刷中も含む)雑誌および図書

- ① 2018年(第24号)総合文化研究所紀要に研究成果を発表予定(現在執筆中)